

高塔山夜景キャッチコピー「河童の愛した宝宝箱」

4/15
2022
令和4年

わかまつ

編集 若松区役所総務企画課 ☎761・0039 FAX751・6274

- 時間は24時間表記。
- 料金について記載のない催しは入場無料(参加無料)。
- はがき・往復はがき・電子申請の応募方法は11ページを参照。
- 甲=申し込み 問=問い合わせ
- 共通=共通の内容 担=市の担当課
- ネット=ネット窓口(電子申請)

掲載の催しなどは、新型コロナウイルスの感染拡大の状況などによっては、変更・中止となる場合があります。

子育て女性就職支援センターの出張相談

働きたい女性の相談に、専門コーディネーターが応じます。4月26日(火)10時10分～15時10分、子どもの館(黒崎駅西側、コムシティ7階)で。対象は女性の求職者。定員4人。甲4月22日までに福岡県子育て女性就職支援センター☎533・6637へ。



高齢者等住宅相談

介護の必要な高齢者や障害のある

若戸大橋が国の重要文化財に指定されました

我が国初の本格的な長大吊橋として、工業技術の粋を集めて昭和37年に完成した若戸大橋。当時、東洋一の吊橋として名を馳せ、今年で供用開始から60周年を迎えます。

若戸大橋の指定により、市内の国指定重要文化財の建造物は6件になりました。

問若松区役所総務企画課☎761・0039へ。



人などのための住まいづくりや住宅改造など。若松区役所で。事前に甲が必要。申随時、若松区役所「高齢者・障害者相談」コーナー☎751・4800へ。

北九州エンジョイント事業 若松市民塾

次世代につなげることを目的に、若松に関する、音楽、福祉、歴史、人権などを、色々な視点で学びます。6月15日～12月3日のおおむね毎月1回(全6回)10～12時、若松市民会館(若松駅前)で。定員50人。資料代1000円。甲4月18日から若松区役所コミュニティ支援課☎761・5324へ。

市民センターをご利用ください

市民センターは、地域活動や生涯学習、文化・スポーツ活動を通じた「まちづくり」「人づくり」の拠点となる施設です。地域における住民の交流や、子育てサークル、クラブ活動などもありますので、ぜひお気軽にご利用ください。

問若松区コミュニティ支援課☎761・5324へ。

センター名	住所	電話
青葉市民センター	青葉台西一丁目14-1	☎742・5331
赤崎市民センター	西小石町8-2	☎751・1900
島郷市民センター	鴨生田二丁目1-1	☎791・0483
修多羅市民センター	白山一丁目9-13	☎751・0720
高須市民センター	高須北一丁目1-2	☎741・5707
ひびきの市民センター	ひびきの北8-28	☎701・5161
深町市民センター	深町一丁目2-12	☎771・6873
藤ノ木市民センター	赤島町20-13	☎771・7955
二島市民センター	東二島二丁目7-3	☎791・1552
古前市民センター	古前一丁目28-23	☎771・8202
若松中央市民センター	浜町一丁目1-2	☎771・7685

健康だより

問若松区役所健康相談コーナー ☎761・5327

離乳食教室 離乳食のすすめ方の話と個別相談。5月17日(火)13時30分～14時30分、若松区役所で。対象は生後7カ月～離乳完了(生後18カ月ごろ)の乳幼児と保護者。母子健康手帳が必要。定員12組。甲4月25日～5月9日に問先へ。二次元コードからも申し込みができます。



マタニティ講座 2回シリーズで行

います。▶第1課=妊娠中の過ごし方、妊婦健診結果の見方、リラックスマ法や出産準備ストレッチ、胎内からのデンタルケア。助産師、歯科衛生士による講話と体操など。5月20日(金) ▶第2課=赤ちゃんとの過ごし方、ママの産後ケア、ママとベビーのすこやかレシピ。助産師、管理栄養士による講話など。5月27日(金)。共通13時30分～15時、若松区役所で。対象は妊婦と家族。母子健康手帳が必要。体操できる服装で来所を。定員各課12人。甲4月27日～5月11日に問先へ。二次元コードからも申し込みができます。



▲申し込みはコチラ

4月は20歳未満飲酒防止強調月間

20歳未満の人の飲酒は法律で禁止されています。20歳未満の人がお酒を飲むと、脳の機能の低下、肝臓などの臓器への障害、性ホルモンの異常などのリスクが高くなります。

2022年4月から民法の成年年齢は18歳に引き下げられますが、お酒に関する年齢制限は20歳のまま維持されます。

問小倉税務署酒類指導官☎583・1331へ。

お酒は20歳になってから



本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。